

第34回ATP賞テレビグランプリ



会 期：2018年7月13日(金)
会 場：六本木ハリウッドホール
主 催：(一社)全日本テレビ番組製作社連盟
共 催：ATP加盟社／未加盟社
後 援：総務省／経済産業省／日本放送協会／(一社)日本民間放送連盟
対 象：ドラマ35、情報・バラエティ49、ドキュメンタリー68、新人賞16
合計168作品
公式サイト：http://www.atp.or.jp/awards/atpaward/award_034.php

総来場者数：500人

■開催内容

『ATP賞』は、日本の映像コンテンツ産業の重要な担い手となっている製作会社の社会的機能を高め、そこで働く制作スタッフ一人ひとりの情熱や気概に応えるために、創り手である製作会社のプロデューサーやディレクターが自ら審査委員となって優れた作品を選ぶ、日本で唯一の賞として1984年に創設しました。ドラマ部門、ドキュメンタリー部門、情報・バラエティ部門の3つのジャンルを基幹部門として作品を募集し、最高賞のグランプリを決定します。

2018年度の『第34回ATP賞テレビグランプリ』(主催：ATP)は、7月13日(金)六本木ヒルズハリウッドホールにて開催されました。応募総数は、168作品。栄えあるグランプリは、3部門の最優秀賞の中からATP会員社の投票によりドラマ部門の連続ドラマW「アキラとあきら」(東阪企画／WOWOW)に輝きました。最優秀新人賞には、優秀新人賞4名の中から、会員社の投票によってテムジン房 満満さんが選考されました。理事会推薦による特別賞枠には、33年の長きにわたり、番組クオリティを常に向上させる不断努力と功績に対し、「世界ふしぎ発見!」制作チーム、日本の放送文化になくってはならない昼帯ドラマを復活させたことに対して、帯ドラマ劇場「やすらぎの郷」がそれぞれ選考されました。

